

新潟県糸魚川市 & 早稲田大学 地域連携スタディツアー2025

地域連携スタディツアーとは

参加学生が地域の文化、産業、自然環境などを直接体験し、地域の課題や魅力を深く理解することを目的とした、早稲田大学と地方自治体が共同で企画する実践的な学びのプログラムです。

プログラムのなかで、自治体や地域住民、企業等との交流を通じて、設定されたテーマについて考察します。地域社会の現実的な課題に直面し、解決策を模索する経験を積むことで、今後の地域連携や地域貢献活動に役立つ「学び方を学ぶ」ことができます。このプログラムを通じて、自らの経験値を上げ、地域を見る目、地域の課題解決に対応する力をぜひ養ってください。

おススメのポイント！

- **地方創生の実態や取組に興味のある学生におすすめ。**糸魚川市のまちづくりの現状を実態的に学びます。
- 地域のウェルビーイングについて考え、議論して、プレゼンテーションにつなげます。
- 副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域の対象プログラムです。

テーマ

10年後も幸せを感じながら暮らし続けたいまちづくり ～一人ひとりのウェルビーイングを目指して～

糸魚川市は豊かな自然環境が自慢のまちです。しかし、人口は年々減少し続け、少子高齢化も進行しており、令和6年4月の人口戦略会議の分析レポートで、糸魚川市は消滅可能性自治体に分類されました。若者、特に女性の減少が顕著であり、全国・県平均と比較しても少ない状況となっています。消滅可能性自治体からの脱却を目指すには、若者、女性の定住促進を意識したまちづくりを進める必要があります。

今回のワークショップでは、糸魚川市で活動する団体へのヒアリング、市内在住の若者たちとのディスカッション等を通じて、「10年後も幸せを感じながら暮らし続けたいまちづくり」を考察して、プレゼンテーションをしていただきます。

糸魚川市の魅力

新潟県糸魚川市は新潟県の最西端に位置し、南は長野県、西は富山県に面しており、北陸新幹線を使えば、首都圏や北陸方面からのアクセスが良好です。世界最古のヒスイ文化や貴重な地質があることから、ユネスコ世界ジオパークに認定されており、豊かな自然環境と海・山の幸が自慢です。ミネラル豊富な雪解け水からつくられた米や日本酒、地元の港で水揚げされるベニズワイガニや南蛮エビ、肉厚でやわらかい越の丸なすなども魅力の一つ。スキー・スノーボード、サーフィン、釣り、登山、温泉などアクティビティも充実しています。



募集概要

実施日程	2025年8月29日（金）から9月1日（月） 3泊4日
募集対象	早稲田大学に所属する正規学部生・大学院生（修士課程）（学部、専攻、学年問わず） （留学生の場合は、日本語でのヒアリング、グループワーク、プレゼンテーションに対応できることを条件とする）
募集期間	2025年5月1日（木）～5月15日（木）23：59 [厳守]
応募条件	①2回のオンデマンド授業を視聴し、それぞれ課題を提出すること、②現地3泊4日の全日程に参加すること（途中参加・早退不可）。③終了後に期限内にレポート提出すること、 以上、3点を確約できる者。
募集人数	6名 ※応募者多数の場合は、志望理由で選考します。
実施の流れ	① 6月と7月に各1回のオンデマンド授業を受講し、それぞれ課題を提出 ② 現地実習参加（最終日の成果報告会でプレゼンテーション） ③ 終了後にレポート提出
応募方法	① MyWASEDAの「お知らせ一覧」から「地域連携スタディツアー2025 夏編」を検索 ② 「地域連携スタディツアー2025 夏編応募フォーム」から「申請」をクリック 必要事項（志望理由など）を入力して申請
選考方法	書類選考：結果通知は 2025年6月2日（月）までにWasedaメール にて通知します。 ※当選者には、メールにて参加の意思確認をするので、日常的にメールを確認するようにしてください
注意事項	① 本スタディツアーは課外活動なので、卒業単位の対象ではありませんが、副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域に「1単位相当」として認定されます。 ② 2025年8月29日から9月1日の現地実習は、現地集合・現地解散で、 往復交通費は自己負担 です。 ＜交通費目安＞東京駅～糸魚川駅 片道 11,200円（新幹線／指定席） ③ 参加者が現地で負担する費用は、宿泊3泊で計19,500円（ツインルーム2名利用・朝食付き）円のほか、昼食・夕食の実費です。 ＜宿泊場所＞ホテルジオパーク 住所：〒941-0061 新潟県糸魚川市大町1-5-1 ④ 現地での移動は、糸魚川市役所からご支援をいただきます。 ⑤ プログラムを終えて「1単位相当」に認定された人は、糸魚川市の補助金（最大2万円程度）の対象になります。詳しくは現地で説明します。 ⑥ 現地では、糸魚川市職員と本学教員が引率します。 ⑦ 早稲田大学の学生補償制度（損害補償・賠償責任補償）に加入いただきます。費用は大学が負担します。 ⑧ 現地実習実施日と重複する集中科目等を欠席した場合、公欠扱いになりません。 ⑨ 参加確定後に、正当な理由なく参加を取りやめた場合、以後の地域連携スタディツアー、地域連携ワークショップ等に応募できないことがあります。 ⑩ 【重要】本スタディツアーに参加が決定した場合、5月末～6月上旬に募集予定の地域連携ワークショップおよび企業連携ワークショップへの応募はできません。事前に各プログラムの特色などをご確認の上、応募してください。 ⑪ 本スタディツアーでは連携先、大学がInstagram等公式SNSを含む広報活動の目的で写真・映像を撮影します。掲載の際には個人特定されないよう十分注意いたしますが、あらかじめご了承ください。 ⑫ 選考結果に関する問い合わせにはお答えいたしかねます。あらかじめご了承ください。
問合せ先	グローバル・エデュケーション・センター 准教授 加藤基樹（motokato@waseda.jp） ※問い合わせの際には、件名のほか所属学部／研究科、学年、氏名を必ずメール本文に含めてください。

現地実習のスケジュール（予定）

※天候や訪問先のご都合等によって、変更が生じる場合があります

8月29日	金	12:45	糸魚川駅 集合
		13:00	オリエンテーション(糸魚川市役所にて)
		13:30	糸魚川市役所にて聞き取り
		15:00	市内企業訪問
		17:00	ホテルにチェックイン・ふりかえり・夕食
8月30日	土	午前	市内散策(ジオパーク関連を含む)
		午後	市内まちづくり団体との意見交換会
		17:00	ふりかえり・夕食
8月31日	日	午前	市内の若者との意見交換会 (若者ミーティング参加)
		午後・夜	プレゼンテーション作成
9月1日	月	9:30	成果報告・意見交換会 (プレゼンテーションと講評・糸魚川市役所)
		終了後	現地解散 (参考・糸魚川駅11時49分)

その他

副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域では、2単位相当を要件としています。

本スタディツアーは1単位相当なので、これだけでは不足しますが、地域連携スタディツアーは、夏休みと春休みに、それぞれ数カ所で実施しています。今後、複数のスタディツアーに参加して、それぞれの違いを感じながら、実践的に学んでいくことをおすすめします。